クラス番号	626	担当教員名	横山 由香里
テーマ	当事者の理解と保健医療福祉の支援		
著書・論文 研究課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎喜比古他編.『ストレス対処能力 SOC』（有信堂）,2008. 「第7章3節 遺族のSOC—薬害 HIV 被害者遺族を中心に」 ・山崎喜比古他編.『健康被害を生きる—薬害 HIV サバイバーとその家族の20年』（勁草書房）,2010. 「第IV部第1章 1998年から2005年にかけて健康・生活の変化」 ・横山由香里他.『「カルテがない」C型肝炎感染者の医療と生活の実態』, 社会医学研究. 第30巻2号 		

ゼミナール概要

キーワード： 当事者理解、地域福祉、保健医療福祉

目的、内容、方法等：

【目的】

患者さんやご家族、ご遺族、高齢者や障がい者が生活する上で抱える困難や葛藤を理解し、その解決策を考える力を培うことを目指します。

【内容、方法】

- ①対象を理解する力を育む：支援に先立ち、対象者を理解する努力が必要です。文献や現場の様子、当事者の方の声から、様々な角度から問題を分析し、整理します。
- ②問題を伝える力を養う：患者さんや障がいのある方を取り巻く状況は、年々複雑化しています。そのため、多職種と連携し協働することでより適切な支援につながります。それを実現するには、情報を整理して伝えて問題を共有することが必要です。情報をまとめる方法は随時お伝えしますので一緒に取り組んでみましょう。
- ③問題解決方法を考える力をつける：多職種間連携の事例を通じて、理解を深めます。

授業計画：

- ・3年生前期は文献を中心に学習します。文献や資料を読み、要約して発表します。
- ・3年生後期は、前期で学習した基礎知識を基に、各自で学習テーマを設定し計画を立てます。実際の事例から理解を深めます。
- ・4年生では卒業論文の執筆と社会福祉士国家試験に向けた準備を行います。できるだけ前期の間に卒業論文を提出できるように進めます。

※ゼミの運営はゼミ生を中心に進めていただきます。スケジュールや方法、合宿等は、話し合っ決めていく予定です。医療福祉専門職や当事者の方にゲストスピーカーをお願いするといったゼミ生の企画を歓迎します。

担当教員からのメッセージ

2014年4月から 日本福祉大学に赴任します。(大学生活は皆さんの方が先輩です。いろいろ教えてください。) これまでは、難病患者さんや東日本大震災で被災された地域住民の方々の生活面での問題について取り組んできました。そうした関わりを通じて、患者さんや被災者の方の生き様に感銘を受けたことがたくさんあります。福祉の世界は、人々の生きる営みに触れる領域であり、自分の生き方も変わってくるように思います。皆さんと一緒に学びを深めていけたら幸いです。